



平成 22 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 太平洋セメント株式会社
代表者名 代表取締役社長 徳植 桂治
(コード番号 5233 東証第 1 部、福証)
問合せ先 総 務 部 長 吉田 道夫
(T e l 0 3 - 5 5 3 1 - 7 3 3 4)

子会社（パシフィックシステム株式会社）の業績予想（個別）
の修正に関するお知らせ

当社の連結子会社であるパシフィックシステム株式会社（コード番号 3847、JASDAQ）は、別添資料の通り平成 22 年 3 月期の業績予想（個別）を修正いたしましたので、お知らせいたします。

なお、当修正に伴う当社の連結業績への影響は軽微であります。

以 上

各位

上場会社名 パシフィックシステム株式会社
 代表者 代表取締役社長 増古 恒夫
 (コード番号 3847)
 問合せ先責任者 常務取締役 小澤 文男
 (TEL 03-5847-4700)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,897	180	400	328	221.66
今回発表予想(B)	5,545	93	366	260	175.77
増減額(B-A)	△352	△86	△34	△67	
増減率(%)	△6.0	△48.0	△8.6	△20.7	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	6,587	264	285	168	113.87

修正の理由

わが国経済は、中国を中心としたアジア向け輸出の持ち直し、企業の在庫調整の進展、エコカー減税やエコポイント等の政策効果により改善がみられるものの、雇用や設備の過剰感は解消されておらず、特に設備投資については低調に推移しました。

通期個別業績予想につきましては、当社では前年度中止された画像処理システム案件の一部復活や農業生産システムで受注が増加しているものの、全般的な情報化投資減少の影響により、第3四半期以降ソフトウェア開発及び自社パッケージの受注が減少し、売上高に関しては前回予想から352百万円減少の5,545百万円の見込みであります。利益につきましては、グループ会社間の協業体制推進による外注費削減や開発要員の稼働率確保及び原価低減対策等に努めましたが、売上減少に伴う利益減を補えず、また大規模ソフト開発案件において開発工程の管理不備により赤字案件が増加したことや、開発途中にて作業が中止された案件で損失が発生したこと等により、営業利益は前回予想より86百万円減少の93百万円、経常利益は前回予想より34百万円減少の366百万円、当期純利益は前回予想より67百万円減少の260百万円の見込みであります。

なお、通期連結業績予想につきましては、当社グループ会社において生コンクリート業界におけるJIS改正関連投資の受注が増加していること及び学校向けの公共案件等が好調に推移しているため、現時点においては平成21年5月14日の予想に変更はありません。

(注)上記予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上